

法科大学院がわかる会 東北会場 来場者の感想

(来場者 1)

まず、「法科大学院がわかる会」という名前の通り、現在の法科大学院や、その先にある司法試験の制度がよく分かる会だと思いました。この点は、進路で迷っている人や、法律家という職業に興味を持ち始めた人にとって、役立つ内容だったと思います。

しかし僕はそれ以上に、多くの現役法科大学院生や、卒業生である実務家の方々の経験を直に聞けることが、何よりの魅力だと感じました。お話を聞く中で、法律家という仕事や法科大学院という場所のイメージがとても鮮明なものになり、既に進学を決めていた僕も、勉強に対するモチベーションを高めることができました。

「百聞は一見に如かず」とは言いますが、自分の将来を決めるにあたっては、実際に経験してみることが困難である以上、出来るだけ多くの人の経験に触れることが大切だと思います。その意味で、この会は「百聞」を得る機会として大変価値あるものだと感じました。

(来場者 2)

今回参加してみて、法科大学院生の生活から東北地方の弁護士業の実態、検察官・裁判官の仕事まで、非常に幅広くお話を聞くことができました。参加するまでは法科大学院についても法曹の仕事についても具体的なイメージをほとんど持てずにいましたが、この催しをきっかけに自分が今後どのように勉強していくか、またどのように進路を選択していくかを考えるようになりました。特に印象に残っているのは、東北地方の若手弁護士の先生方による対談です。どのような思いを持って弁護士という道を選んだのか、主にどのような分野の仕事をしているのかだけではなく、法曹における仕事と家庭の両立について 5人の先生方のお話を聞き、様々な働き方を知ることができました。その他にも先生方との懇談会では、明るい雰囲気の中私たちの質問に対し先生方がとても丁寧に答えてくださいました。このように大変貴重で有意義な時間を過ごすことができたので、参加して本当によかったと思いました。